

新年のごあいさつ

平成31年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平成は今年の4月で終わり、5月以降は新元号となりますが、組合は昭和31年4月の設立から昭和、平成に続き、三つ目の元号の年を迎えることとなります。

組合の63年の沿革の中で、昭和と平成の市町村合併を経て、仙台市を除く宮城県内の全市町村と一部事務組合が組織団体となり、現在は団体が49、職員数が18,600人で構成しています。

これまでに退職手当の支給率は、その時代、その時代の環境や状況によって何度か変更されましたが、現在は直近の大幅な引き下げもあって、定年等の最高支給率は47.709となっています。

また、退職手当については、昨年度までに延べ40,161人に対し4,260億円支給していますが、こんにちまで無事運営しておりますのも、ひとえに市町村のご協力の賜物と衷心よりお礼申し上げます。次第です。

こうした中、東日本大震災から今年3月で8年目を迎えますが、地域の復興と創生に向けてご尽力されている市町村職員の皆様には、深く敬意を表するものでございます。

組合は、職員の皆様が安心して公務に専念できるよう、一層の努力を重ねて参りますので、今度ともご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、県内市町村の益々のご発展と職員皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

平成31年1月

宮城県市町村職員退職手当組合

組 合 長 佐 藤 仁

(宮城県南三陸町長)